

平成 27 年度 三条市道徳部 活動報告

部長 二宮 和美

1 研究主題

道徳の教科化に向けての研修 および 道徳授業についての情報交換

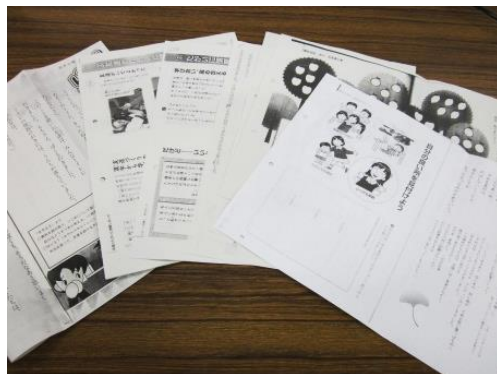
2 研究の概要

実施日：6月25日

場所：三条市立長沢小学校

指導者：三条市立長沢小学校長 吉田順一

内容：「道徳の教科化に向けての研修」
「道徳授業についての情報交換」



3 研究の実際

(1) 道徳の教科化に向けての研修

道徳部で新指導要領にかかわる研修会を計画していたところ、三条市教育センターから各校の道徳教育指導者に向けて研修会案内が届いた。当部会の研修内容と一致し、しかも各校1名以上の参加が義務付けられていたため、この研修会での学びをもとに、情報交換をすることがより効果的な研修会になると考えた。そこで、各校の道徳部員に連絡し、教育センター主催の研修会への参加依頼を行った。

しかし、学校事情等でこの研修会に参加した部員が少ないことがわかり、予定していた研修内容を変更し、参加した部員からの伝達講習を行った。

部員の多くが道徳の教科化について何らかの不安を感じており、研修には意欲的であったが、話し合いでは道徳の授業を実践している部員に限られ、今一步理解が深まらなかった。また、市教育センター主催の研修会の内容は、資料も研修内容も豊富で、限られた部会の時間で全てを伝達しきれなかった。

(2) 道徳授業についての情報交換

道徳の授業を参観する機会が少なくなり、普段の道徳授業をどのように行ったらよいのか不安に感じているという人が多いことから、授業実践を持ち寄って、授業技術の向上のために意見交換を行った。

道徳教育用教材「わたしたちの道徳」の使い方も多数紹介され、授業にすぐに活用できる内容も多かった。また、その他の資料を使った実践もあり、参考になる内容だった。また、資料の使い方改善が必要なものについては、その場で意見交換が行われ、有意義な時間となった。

4 成果と課題

今年度は、2年間続けてきた授業研究をせずに、「道徳の教科化」に向けての悩みや不安、普段の授業実践に関する意見交換会をして、今後の授業に役立てたり、授業技術の向上を図ったりしたいと考えた。

情報交換では、各校の道徳授業の実践を聞き、すぐに授業に取り入れられるアイデアや工夫した資料の使い方などを学ぶことができた。情報交換も活発に行われ、道徳教育用教材「わたしたちの道徳」の使い方を始めとする資料の活用例や疑問、アイデアを話し合うよい機会となった。

一方、授業実践をしている部員が少なく、実際の授業の様子について情報交換できる会員が限られていた。研修内容充実のために、道徳授業を行っている人が道徳部員となるように各学校に声を掛ける必要がある。